

たていし おおはさままちうちかわめ かしよ
立石遺跡が所在する花巻市大迫町内川目地域は現在まで 84 箇所
の遺跡が登録されていますが、このうち 75 箇所が縄文時代の遺跡
です。

ともな はい
平成 16 年度には、個人住宅建設に伴って発掘調査が行われ、配
石遺構 21 基や土坑 29 基、そして住居跡と掘立柱建物跡がそれぞれ
1 棟見つかっています。

はいせきこう こじょうしきしいこう
配石遺構の中でも、「弧状敷石遺構」は幅 2m 前後、長さ約 14m
にわたって川原石が弧を描くように見事に並んでいます。仮に円形
に並んでいたとすれば、外周での直径は 16m くらいになります。
じょうもんじだいこうき ぞく
出土遺物からみて縄文時代後期（約 4,000 ～ 3,500 年前）に属する
可能性が高いものです。

はいせきこうぐん もりど
現在、これらの配石遺構群は盛土
のうえ、保存されています。



第 1 号住居跡 (平成 16 年度調査)



弧状敷石遺構 (平成 16 年度調査)